



2021年4月19日

各 位

会 社 名 シュッピン株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長CEO 小野 尚彦
 (コード番号：3179 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役CFO 辻 本 拓
 (TEL. 03-3342-2944)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年6月17日に公表しました2021年3月期の通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,509	1,228	1,236	807	34.18
今回修正予想 (B)	33,960	1,622	1,632	1,063	44.99
増減額 (B - A)	2,451	394	396	256	
増減率 (%)	7.8	32.1	32.0	31.7	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	34,658	1,754	1,735	1,193	50.55

2. 修正の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による店舗臨時休業や消費マインドの一時的低下を受け、第1四半期は厳しい環境が続きましたが、第2四半期以降コロナ環境下においても更なるEC強化の為の投資を継続し、買取時におけるAI顔認証本人確認の導入や、時計、筆記具事業におけるEC情報発信機能強化の為の店舗・オフィスの拡張移転（「1カテゴリ=1オフィス」）、商品掲載数、コンテンツの拡充等を図ったことで、主力のカメラ事業、時計事業においてECでの新品、中古品の買取、販売が順調に推移し、利益が大きく改善いたしました。

第3四半期においても、メーカー各社からフルサイズミラーレス新製品が発売される中、愛好家のお客様がより楽しんでレビュー、投稿等を行える「EC+CGM」を導入し、ECでの売上高好調が持続し、四半期ベースでの過去最高営業利益額、率を更新いたしました。

第4四半期においては、緊急事態宣言再発出される中ではありましたが、カメラ事業EC売上高が引き続き順調に推移し、時計事業についても第3四半期において戦略的に行った在庫ラインナップ拡充が販売に大きくつながり、通年で前回予想の売上高を上回る見通しであります。

また、売上総利益率も計画以上の改善を維持し、費用のコントロールもできていることで、売上総利益、営業利益以下の各利益で売上高以上に前回予想を大きく上回る見通しであります。

(注) 上記の業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

3. 配当予想修正の理由

2021年3月期の配当予想につきましては、期初の業績予想に対して利益額で大きく上回るものの、新型コロナ影響もあり、前期実績から減益見込みでございますが、株主の皆様への継続的な還元を重視し、業績予想修正内容及び配当性向等を総合的に勘案し、1株当たり11円から5円増配し16円に修正することといたしました。

4. 修正の内容

	年間配当金 (円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年6月17日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 11.00
今回修正予想	—	—	—	16.00	16.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	16.00	16.00

以上